

# あそびっくす通信

あそびっくす通信 2017-1 号(21 号)  
発行：2018 年 3 月 31 日  
あそびっくす in 東小実行委員会  
名張市桔梗が丘 7-1-86  
名張市立桔梗が丘東小学校内  
編集・発行責任：坂本直司

## ■ とうふを作ろう in 東小

7 月 1 日(土) 東小学校家庭科室で 11 組の親子が参加して 1 学期週末課外授業「とうふを作ろう in 東小」を開催しました。豆腐作りに使った大豆は、今年の週末課外授業で子どもたちと一緒に種まきから収穫までしたものです。豆腐作りは初めての試みだったので、講師はプロのお豆腐屋さんをお願いしました。地元で評判の名張市中町の吉野屋さんに来ていただき、豆腐にまつわるお話を聞きながら楽しく体験することが出来ました。



### 《豆乳と豆腐のおいしさ(記憶に残る味)》



一晩水につけた大豆は 3 倍くらいの大きさに膨れ、それをミキサーでつぶす→煮る→絞る→豆乳を温めて凝固剤を入れる→型に流し込む→固まるのを待つ→切って出来上がり。

途中、豆乳をみんなで試飲したところ、「コクのある牛乳」という感じでとても美味しく驚きました。

何も足さなくてもこれが大豆本来の味で、完成した豆腐も美味しく出来上がりました。講師の吉井さん曰く「これが東小の畑で採れた大豆の味です。本物の大豆の味です。しっかり覚えておいてください。」と。

### 《安全な食べ物とは履歴が明らかなこと》

子どもたちと一緒に、種まきから収穫まで学校敷地内の畑で無農薬で育てた大豆で出来た豆腐です。全く無添加の本物の豆腐を味わいました。塩も醤油もいりません。それほど豆腐自身が味を持っていたのでした。豆腐の味と一緒に、この日の経験を子どもたちはきっと忘れることはないでしょう。本物の味を自分の舌が覚えているということはとても大事なことだと思います。



### 《余った大豆を子ども食堂におすそ分け》

10kg の収穫で 4kg 使っただけなので、残った大豆は参加者全員から承諾を得た後、この日飛び入り参加してもらった「名張子ども食堂」のスタッフさんに差し上げました。子ども食堂に参加する子どもたちに喜んでもらえる嬉しです。

## ■ 通学路花いっぱいいっぱい運動

7 月 1 日午後 1 時 30 分より開始した花の苗無料配布。直前まで雨が降っていたので例年より出足は悪かったのですが、100 名ほどの地域の皆さんが足を運んでくださいました。6 月 3 日に子どもたちと実行委員でポットに植え替え、その後は毎日学校で管理いただいたマリゴールド、サルビア、コリウスなどの苗約 2,000 株を配布しました。来場の皆さんから、10,325 円の寄付と PTA バザーのための寄贈品を頂きました。子どもたちのために使わせていただきます。ありがとうございました。

## ■ サマーキャンプ



夏休み中の 8 月 11 日(祝)、児童 29 名、保護者 24 名、未就学児 6 名が参加して、今年もサマーキャンプを開催しました。写真は、必要な道具や材料を書き出す作戦会議と、予想される危険を書き出す危険予知訓練の様です。危険予知訓練では、子どもたちが予想する危険を黄色の紙に書き出す作業を行いました。アトラクションは、災害時の緊急手段として発案された方法で、空き缶 2 個でカマドと鍋を作り、牛乳パックを燃料としてご飯を炊く実演を行いました。



包丁もナタも慣れるところから

### 《お父さんたちがカマドに夢中》

今年目立ったのは、お父さんたちの活躍でした。「出来るだけ子どもたちにやらせてあげてください!」とお願いしましたが、「いや、楽しいねん!」とお父さんたちは



自らカマドの火のメンテに夢中。こんなにも楽しそうなお父さんを子どもたちは初めて見たのではないのでしょうか。大人も楽しめばいいのです。今のお父さん世代は、すでに子どもの頃にたき火などの経験が無いのかもしれない。



マッチの練習



みんなでテーブル準備

## ■ あそびっくす in 東小 2017

11月11日(土)全校児童と地域の方を対象とした6つの体験講座を開講しました。

### ● 1年生:チリメンモンスターをさがせ

チリメンジャコの中に紛れ込んだタコやイカ、カニなどを探します。子どもたちにはこの体験学習を通じて、海にはいろいろな生き物が棲んでいて、私たちはそのおかげで生きていることを学んでほしいと思います。



見つけたチリメンモンスターは、写真のようにスケッチして図鑑で名前を調べます。



写真で残すのではなく、あえて手間をかけてスケッチすることによって、子どもたちはしっかり観察し、記憶にも記録にも残ります。

### ● 2年生:科学教室

2年生の体験講座は、オモシロ科学教室と題して「恐竜のタマゴ」を作りました。アルミホイルで包んだビー玉をタッパーに入れて振り回すだけですが、出来上がったタマゴがなんと手の上でピクッと動くのです。これには驚きました。子どもたちはこのタマゴを大事に家に持ち帰りましたが、果たして恐竜は生まれたのでしょうか？



振って振って



ピクッと動く恐竜のタマゴ

### ● 3年生:竹細工

竹工芸作家の時(そわ)先生に教わってサワガニを作りました。胴体と爪や足は先生がパーツで用意してくれ

ていますが、取り付けるのは自分たちで、爪をどのような角度にすると本物らしく見えるかの説明を聞きました。

今年は子どもたちに石ころを持ってきてもらい、完成したサワガニをその上に乗せてみました。

今にも歩き出しそうです。



本物らしく見せるには？



今にも歩き出しそう

### ● 4年生:バードコール

4年生の体験講座は、木の枝とボルトを使って鳥の鳴き声を出す「バードコール」の製作です。1年以上乾燥させた材料を使ったので、今年は全員音が出てほっとしました。完成したバードコールを持って全員で運動場に出て実際に鳴らしてみました。

右下の写真は10cm程度に切った枝の中央に孔をあけ、タップを使ってネジを切っているところです。ここにアイボルトを差し込んで回す時の摩擦でキュッキュッと音が出る仕組みです。



鳴り具合はどうか？



### ● 5年生:陶器作り

5年生による体験講座は「陶器作り」で、クリスマスツリーを作りました。陶器で作るクリスマスツリーなんて普通に考えると想像出来ませんが、子どもたちには大人が考えつかない自由な発想があります。

板状に薄く延ばした粘土を円錐形に巻いていき、その表面にいろいろなパーツを取り付けて飾ります。焼いた後が楽しみです。

### ● 6年生:お菓子作り



6年生の体験講座は「お菓子作り」で、秦先生に教わって「あずきの蒸しカステラ」を作りました。

さすが6年生で、どの班も手際よく作業を進め



ることが出来ました。  
左は出来上がった蒸しカステラをみんなで試食するところです。見た目も味も申し分ありませんでした。  
ごちそうさま！

## ● 講師の先生方



## ■ 秋の通学路花いっぱい運動

＜子どもたちと地域の絆づくり事業=名張市放課後子ども教室事業＞

11月11日(土)あそびつくす in 東小の体験学習のあと、恒例となった通学路花いっぱい運動として地域の皆さんにパンジーの苗を無料配布しました。今年の苗は発芽が良好だったのですが、播種から1か月後の10月第1週にポットへ植え替えた苗は順調に生育したものの、その後急激に気温が低下したため、第2週から第3週にかけて植え替えた苗は生育が芳しくありませんでした。それでも多くの皆さんに苗を持ち帰っていただきました。植物は環境に対して正直です。秋には小さな苗でも春になったらきっときれいな花が咲きますので、日頃の世話と子どもたちの安全見守りをよろしく願います。また、この時も地域の皆さんから11,440円のご寄付を頂戴しました。ありがとうございました。



## ■ ストーンアート -2 学期週末課外授業-



2学期週末課外授業は、12月2日(土)7名の児童と4名の保護者の参加を得て、川原で拾った石ころにアクリル絵の具で絵を描く「ストーンアートにチャレンジ!」を行いました。

講師は、名張市中町の文房具店カドキさんにお願ひし、参加いただいた東小の4名の先生方もそれぞれが個性あふれる作品を完成させてくれました。

参加した子どもたちは予め用意された石の中から好きなものを選んでまずはじっと観察です。長いこと観察していると不思議とその石が何かに見えてきます。まるで石のほうからメッセージが発信されるかのようなのでした。熱心に筆を走らせる子どもたちの表情は真剣そのもの。大人よりも集中力があると感じました。

上の写真が参加者全員の作品です。動物あり、乗り物ありと保護者やスタッフも頑張りましたが、やはり子どもたちの発想にはかないませんでした。

最後は一人ずつ自分の作品のプレゼンテーションを行い、作品に込めた思いを伝えることが出来ました。



## ■ 箏の演奏体験 -3 学期週末課外授業-



3学期週末課外授業は、2月10日(土)、わくわく1教室にて9名の児童と、保護者8名が参加して「箏(こた)のえんそうにチャレンジ in 東小」を行いました。講師は名張青峰高校から箏曲部の皆さんに来ていただきました。また Benny さん、Satoshi さん、Frederique さんという3名のALTの先生方も参加してくれました。

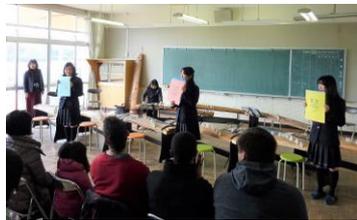
### 《伝統楽器も子どもにとっては新鮮》

当初、箏という普段見慣れない日本の伝統楽器に対して子どもたちは興味を示すだろうかと心配していました。しかし、冒頭から箏曲部の皆さんの演奏で「花は咲く」の美しい音色を聴かせていただいたことで、その心配が杞憂であったことを確信しました。

### 《上達が速い！》

「こと」は「殊」「箏」「琴」のどの漢字が正しいか？など箏（この漢字が正しいそうです）にまつわるクイズでウォーミングアップの後、説明を聞きながら高校生に演奏の仕方を教わりました。筆者も箏の楽譜を初めて見ましたが、五線譜ではなくて13本ある弦（糸）の何番目を弾くのかを縦書きで書いてありました。それに沿って、「さくら」をみんなで練習しましたが、その間約30分。果たしてうまく演奏出来るのか心配でしたが、驚いたことに子どもたちは上達が速く、上手に演奏することが出来たのです。拍手！

### 《高校生から教わるということ》



今回の講師は、子どもたちとも比較的年齢に近い高校生ということもあって、遠慮なく体験に取り組めたように感じます。また講師役をして

くださった高校生の皆さんにとっても、教えるということ自分で自分の学びもより深くなったのではないのでしょうか。

### 《ALTも参加》

3名のALTのうち1名はアメリカで箏を習っていたそうで、とても上手に演奏してくれました。こうやって海外の方が興味を持ってくれる伝統楽器が日本にあるということを誇りに思います。



※：ALTとはAssistant Language Teacherの略で英語の先生のこと。

## ■ 地域フェスタ

### 《昔遊びに大人が夢中》

11月19日（日）に開催された桔梗が丘自治連合協議会主催の「ほっとまちフェスタ」に、今年はコマ回し、ケン玉、ヨーヨー、メンコなど昔遊びの道具を準備して参加しました。写真のように子どもたちに交じって大人の皆さんが遊びに来てくれました。彼女たちはケン玉がとても上手で楽しんでもらうことが出来ました。これがまさに私たちが目指す「遊びを通じた世代間交流」でした。



写真のように子どもたちに交じって大人の皆さんが遊びに来てくれました。彼女たちはケン玉がとても上手で楽しんでもらうことが出来ました。これがまさに私たちが目指す「遊びを通じた世代間交流」でした。

## ▼ 編集後記

### ➤ キャンプのマニュアル

毎年行っているサマーキャンプでは、刃のついた道具を使う関係上、今までも小さなケガが発生していました。私たちはその都度やり方を改善し、マニュアルを作り、危険予知訓練を行い、ケガを未然に防ぐ努力をしてきました。

しかしながら、昨年ピーラーでケガをした子がいたので、今年はマニュアルを作って安全な皮の剥き方を指導しました。写真がそのマニュアルに沿った剥き方で、野菜を必ずまな板の上に乗せてから剥くというものです。結果、今年は誰一人ケガをすることもなくキャンプを終えることが出来ました。このように、「体験は人生の肥やしになる」と考える私たちは、問題が起これば止めるのでは



なく原因を調査し、対策を打つという「継続的改善」をこれからも続けていきたいと思えます。

### ➤ 啓蟄のこと（ミミズが這い出てくる）

筆者は最近、児童の登校時間に朝の挨拶を兼ねて、東小正門階段の掃き掃除を行っているのですが、3月のある朝ミミズが大量に階段のコンクリートの上を這っていました。当然水分がありませんから多くのミミズは弱っていて、既に息絶えたものも少なくありませんでした。前日までそんなことが無かったのになぜこの日に限ってと思ってカレンダーを見ると、その日は24節気の一つ「啓蟄」だったのです。啓蟄とは「暖かくなって生き物が土から出てくる時期」のことですが、生き物の不思議と先人の知恵に驚かされました。

### ➤ 6年生のランドセル寄せ書き

卒業式の前日のことです。登校してくる6年生のランドセルに何やら文字が書かれているのを発見しました。近寄って聞いてみると、友達どうしメッセージを交換したのだそうです。グッドアイデアだと思いました。この子たちは大人になるまでにはいろいろな壁にぶつかることでしょう。でもそんな時、このランドセルの寄せ書きを見て、小学校で一緒に学んだ同級生を思い出せばきっと勇気が湧いてくると思います。

### ➤ あそびっくす in 東小 20周年

平成10年に第1回が開催された「あそびっくす in 東小」ですが、おかげさまで20年継続することが出来ました。今年の9月15日（土）には記念式典と「ミヤマ仮面」というパフォーマンスで、子どもたちと一緒に20周年をお祝いしたいと思います。保護者の皆さん、地域の皆さんには追ってご連絡いたしますので楽しみにしてください。本年度も一年間「あそびっくす in 東小」の活動へのご理解ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。来年度もよろしくお願い申し上げます。